

愛知三の丸クリニックだより

臨時号 (2020年7月)



ご存知ですか？ 心不全

現役世代の方に健やかな老後を迎えていただくために、また、みなさんのご家族ご親族で高齢の方(心不全世代)のために、今月は《心不全》について解説していきます。

院長 飯田 将人



当クリニックでは循環器内科医による慢性心不全の外来診療を行っています

◇◇◇心不全とは何ですか？◇◇◇

心不全とは「何らかの理由により心臓の働きが低下して、生活や運動に必要な血液を十分に送れない状態」のことです。

多くの場合、生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常)に、喫煙、加齢が加わって心機能が低下することが原因です。同時に血管も硬くなることが多く、血液が流れにくくなるため、心不全を助長します。70歳から80歳台で発症する例が多いようです。

症状は、歩いた時の息切れ、足のむくみ、倦怠感などですが、明らかな症状がないこともあります。

◇◇◇心臓超音波検査について◇◇◇

心電図異常や胸部写真で心拡大がみられることが多いですが異常のないこともあり、確定診断には心臓超音波検査と血液検査(BNP)を行います。

心不全の原因となる主な心血管病には、心肥大、弁膜症、虚血性心疾患、高度の動脈硬化、心房細動などの不整脈と腎機能低下があります。

治療は生活習慣病の是正と、症状に応じて利尿薬、血管拡張薬(ニトログリセリン)、脈拍を調整する薬(β 遮断薬)などを処方します。



◇◇◇日本には心不全がどのくらいいますか？◇◇◇

社会の高齢化に伴い80歳以上の方が増えたため、心不全も増加して日本には現在約120万人いるだろうと推定されています。今後さらに135万人まで増えることが予想されています(心不全パンデミック)。

高齢者の心不全は入院する率が高く、2013年には21万人であったのが、2017年には26万人と大幅に増加しました。今後このペースで心不全による入院が増えると、入院を受け入れるベッドが足りなくなるだろうと指摘されています。入退院を繰り返すことも多く、生活の質が損なわれます。

したがって、50歳台、60歳台のうちから生活習慣病を管理して、禁煙や適度な運動などの適切な生活スタイルを維持することにより、心不全を予防することが重要です。

(日本医師会雑誌 2020年06月号より)



今月のお知らせは以上です。
今後も様々な情報提供を
続けていきます。

